

福生 FUSSA

第 82 号

平成元年 4 月 25 日

発行 福生市議会

東京都福生市本町 5 番地
電話 0425 (51) 1 5 1 1 (代表)

市議会だより



桜まつりが終わるとゴールデンウィーク
その頃になると、この辺り一帯は緑がいっぱい

— 柳山公園花園前で —

平成元年度一般会計
 百四十二億四千六百九十九万二千円
 前年比七・四％増

奈良・東大寺二月堂で、お水取りが営まれる九・九消寒（くしょうかん）の頃、平成元年第一回定例会が開かれました。

今回の定例会では市長の施政方針演説を受け新年度予算を初め二十九議案及び陳情七件が提出され、また、市政全般にわたり八名の議員から一般質問が行われました。

施政方針演説は毎年三月議会で述べられる例が多く、新年度の行政をどのように進めるのか、その基本方針を述べるものです。

事業は別表のとおりです。なお、詳しい内容や施政方針の概要は、中央図書館で見ることが出来ます。

この方針の具体的な施策は、新年度予算の中に網羅されていて、この予算が三月議会に提出され、決まった最初の予算を当初予算と言います。

平成元年度各会計別当初予算

人口64.1.1現在56,713人

区 分	予 算 額	前年度比較	人口1人当りの額
一 般 会 計	142億4,699万2千円	7.4%	251,212円
国民健康保険特別会計	21億801万6千円	6.4%	37,170円
老人保健医療特別会計	13億9,439万7千円	14.2%	24,587円
区画整理事業計	10万円	△47.4%	2円
下水道事業計	25億2,861万1千円	13.2%	44,586円
小 計	202億7,811万6千円	8.4%	357,557円
受託水道事業計	7億4,538万3千円	8.5%	13,143円
計	210億2,349万9千円	8.4%	370,700円

第1回定例会

審議日程

3月	
7日	本会議
8日	本会議
9日	一般会計予算審査特別委員会 (13日まで)
15日	厚生委員会
16日	建設委員会
17日	総務委員会
22日	議会運営委員会
24日	本会議

第一日目 会期を三月七日から二十四日までの十八日間とした後、新年度に向けての市長の施政方針演説に続き、五人の議員が一般質問を行いました。

第二日目 新たに市長から、議案四件と陳情三件の追加提案がされた後、前日に続き一般質問を三人の議員が行いました。

その後、議案の審議に入り一議案を可決、二十七議案と陳情七件を各委員会に付託し、また、新年度予算を審査するため、予算審査特別委員会が設置されました。

第三日目 各委員会に付託されていた議案等の審査報告と、この日提出された議案の審査が行われ、十八議案が可決されました。

特に「平成元年度一般会計予算」を初め十議案に対し反対・賛成の討論が行われ、いずれも起立採決の結果、賛成多数をもって可決されました。

また、「消費税の廃止を求める陳情書」等、陳情六件の審査報告についても、討論の後、不採択となりました。

平成元年度の主な事業 (一般会計)

総務 18億8,186万6千円 (13.2%)



- もくせい会館外壁及び屋上防水工事費 2,266万円
- 育児休業代替パートタイマー賃金 247万1千円
- 広報、市のお知らせ印刷代 1,278万6千円
- 市総合計画策定費 1,171万4千円
- 電子計算機運営費 5,035万3千円
- 市史資料編(近世1・2 近代1)印刷製本代 1,155万円
- 駅周辺自転車整理委託料 844万1千円
- 交通安全協会補助金 111万3千円
- 町会会館建設費等補助金 221万3千円
- 私立幼稚園児保護者負担軽減補助金 6,242万9千円
- 参議院、都議会議員選挙費 2,462万2千円

民生 32億8,228万2千円 (23.0%)



- 法人地域社会福祉協議会補助金 1,564万9千円
- 国民健康保険特別会計繰出金 2億4,000万円
- 心身障害者福祉手当 7,111万7千円
- れんげ・ひまわり作業所補助金 3,223万6千円
- 敬老の日記念品 1,140万5千円
- 高齢者事業団運営費補助金 3,248万8千円
- 緊急通報システム事業費 223万円
- 学童保育委託料 3,917万9千円
- 無認可保育室委託児委託料 1,555万9千円

衛生 8億668万3千円 (5.7%)



- 子宮がん検診委託料 438万5千円
- 麻疹等接種委託料 703万2千円
- 多摩川等水質分析調査費 368万2千円
- 牛浜駅東口公衆便所新設事業費 1,339万円
- 粗大ごみ焼却炉改築事業費 4,238万5千円
- 塵芥車買替え 280万円
- 資源再利用実施団体奨励報償金 313万5千円

商工、消防、その他 21億874万4千円 (14.8%)



- 樹林・樹木等保存奨励金 546万4千円
- 福生桜まつり補助金 353万6千円
- 福生七夕まつり委託料 1,300万円
- 福生市商工会補助金 1,307万3千円
- 中小企業振興資金貸付預託金及び利子補給金等 3,555万4千円
- 消防団車庫詰所修繕費 654万1千円
- 防火水槽新設事業費 2,172万9千円
- 防災行政無線増設移設工事費 432万6千円

土木 33億402万4千円 (23.2%)



- 私道整備工事費 3,090万円
- 市道等補修工事費 1,545万円
- 交通安全施設整備工事費 3,845万円
- 用途地域図印刷代 213万4千円
- 熊川地区土地区画整理計画委託料 1,483万2千円
- 都市計画道路2・2・6号線事業化調査委託料 473万8千円
- 下水道事業会計繰出金 9億1,000万円
- 多摩河原・本六・福栄公園新設事業費 6億2,718万1千円
- 熊川緑地新設事業費 1億8,754万円
- 市営住宅新築事業費 1億9,123万4千円

教育 28億6,339万3千円 (20.1%)



- 小中学校補助教材教具代 1,454万3千円
- 第6・7小学校内装改良事業費 1億1,849万1千円
- 第1・2中学校体育館等内外装改良事業費 2億2,592万3千円
- 中学校給食審議会費 148万5千円
- 青少年関係地区組織活動補助金 198万円
- 文化財保護関係各種調査結果等報告書作成費 132万6千円
- 市民会館臨時駐車場設置工事費 3,656万5千円
- 図書館図書・視聴覚資料等購入費 1,995万円
- 福生野球場フェンス衝撃防御材取付工事費 1,545万円
- 多目的広場新設事業費 2億1,354万7千円

予算特別委員会の審査から

平成元年度一般会計当初予算は、設置された予算審査特別委員会（委員長井上寅吉議員、副委員長浜中輝夫議員）に付託され三日間にわたり慎重な審査が行われました。

本議会最終日に、委員会の審査報告がされ、反対、賛成の討論の後、起立採決の結果、賛成多数をもって原案どおり可決されました。

以下は、委員会での質疑応答です。

普通徴収と

特別徴収の割合は

〈歳入〉

問 個人住民税の普通徴収と特別徴収の、納税義務者と納税者の人数及びその割合を伺いたい。

答 元年度については、普通徴収の場合、マクロ的に掌握したが、納税義務者は約九千人の三八・三％、特別徴収の納税者は一万四千五百人で六一・七％である。
なお、調定額においては五七・三％が特別徴収である。

問 合衆国軍隊の構成員等が所有する軽自動車の場合と、これを日本人並みに課税した場合には、どうなるのか。

答 昨年の実績が四百三十九台であったので、本予算では四百四十台を見込んだ。また、日本人並みに課税した場合には、九十万九千円程度多くなると思われる。

使用料や手数料への

消費税課税いかに

問 当市では当分の間、消費税を上乗せしないとのことだが、使用料及び手数料の中に、消費税がかららないものがあるかどうか。

答 使用料の中で短期の道路占用料や通常の地下埋設と手数料では、民間と競合しない独自のものは課税されない。また、塵芥手数料とし尿処理手数料には課税される。

元年度予算

賛成多数で可決



来年度の水洗化

改造予定件数は

問 し尿処理費を有料化することによって、水洗化の普及率が図れるが、来年度はどのくらい改造を予定しているのか。

答 六十三年度は百七十件改造された。今後はできるだけ

け多くの改造を促進させ、また、改造資金融資は、下水道供用開始後三年までであるが、それも緩和していきたい。

身障者用住宅が

できると聞いているが

問 身障者用住宅ができると聞くと、その様子を伺いたい。

答 平成元年度に完成する熊川の都営住宅に、市から二戸お願いしている。これについては市内の障害のある方から希望をとって入居者を決め、相談をしながら、その障害に合った施設で対応すると聞いている。

無認可保育室

一施設ふえた内容は

問 無認可保育室の補助金は、昨年とは二施設だったのが、本予算では三施設になっている。この内容を伺いたい。

答 新年度に「ありんこ共同保育所」を、東京都の補助対象にするもので、定員を十七人程度と予定したものである。

市史編さんの

進みぐあいは

《歳出》

問 市史の編さんの進みぐあいはどうなのか、市制二十周年に間に合うのか。

答 昭和五十九年に市史編さん委員会条例をつくり、作業を進めている。広義の市史とは研究誌、資料集、本編である通史が一体となって市史となるが、市内における資料が当初予定していたよりも多く、その分、作業が多くなり延びることになる。

したがって平成二年度完成にこだわらずに完全なものにするため二、三年先を見ていこうと、編さん委員会でも既に計画の変更を決めている。

福祉住宅

市営住宅の中にあるか

問 新築される市営住宅の中に福祉住宅といったものは入っているのか。

答 特に身障者向けの住宅はないが、トイレ、洗面所等への手摺の設置、スロープ等の配慮はしている。今後、建替えを計画する際には、身障者向けの住宅をその中

に組み入れていきたい。

問 市内の公園

で、スピーカー等を使用するための電源を設けられないか。

また、新設される多摩河原公園についてどうか。

電源の設置を

公園内にできないか

費用の面から難しい。多摩河原公園は、トイレ等の設置にポンプが必要であり、河川敷なので建設省等と協議をするが、その際、電源に

ついても検討していきたい。

開かれた

教育委員会の開催を

問 教育委員会は、開かれた会

議であって、常に多くの市民が傍聴できるような状態でなくてはならないと主張してきたが、今後、このような体制、あるいは会議の開催が十分お知らせできるような方法を、考えられないものか。

答 予算とか条例を提案する場合の委員会については、事前に準備する期間も十分あるので、可能

と考えられるが、各委員の意見を聞いて対応を考えたい。

熊川地区の

区画整理事業は

問 区画整理事業の見通しは。

答 昨年、隣組単位に説明を行ったが、平均二四％の減歩率に話題が集中した。また、先のアンケートでは、関係者四百四人のうち、賛成ないし中間が百七十三人、反対が百五十人、どっちつかずが八十一人で、八十一人の対策をどうするかが今後の中心になると思う。

討 論

今定例会では、次の議案に対し反対並びに賛成の討論がされました。

- 議案第14号 福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例
- 議案第20号 福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 議案第24号 昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除に関する条例
- 議案第26号 昭和63年度福生市一般会計補正予算（第5号）
- 議案第27号 昭和63年度福生市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）
- 議案第29号 平成元年度福生市一般会計予算
- 議案第30号 平成元年度福生市国民健康保険特別会計予算
- 議案第31号 平成元年度福生市老人保健医療特別会計予算
- 議案第33号 平成元年度福生市下水道事業会計予算
- 陳情第63—4号 名称・形式を問わず大型間接税の導入に反対する陳情書
- 陳情第63—11号 消費税（新型間接税）の導入に反対する陳情書
- 陳情第63—14号 消費税（新大型間接税）の導入に反対する陳情書
- 陳情第63—15号 消費税（新大型間接税）の導入に反対する陳情書
- 陳情第1—4号 消費税の廃止を求める陳情書
- 陳情第1—5号 消費税の導入に関する陳情書
- 議案第41号 リクルート事件の疑惑解明と政治倫理の早期確立に関する決議

一般質問



第1回定例会では
8人の議員が一般
質問を行いました

熊川駅周辺道路

早急に整備できないか

質問 熊川地区の東西を結ぶ重要な道路である五丁橋道路の八高線とのガード下の拡幅や、青梅線踏切際から右折して熊川駅に向う道路とか、熊川駅の東西踏切の整

備が急がれているが、その考えを伺いたい。

市長 熊川駅に近い地域なので有機的役割を持った道路が必要である。非常時の緊急車両の進入や



ダァーレ、こんな狭い所に車を止めて？
—熊川駅東側—

ごみ収集等から、踏切を含めた道路網の整備が必要と痛感しており、関係者のご理解を得ながら努力していきたい。

建設部長 八高線のガードは現在調査中で、その結果を見て検討したい。熊川駅周辺の道路も昔の赤道のまま開発された状態であり、袋小路の道路も関係者の

合意を得て、通り抜けできるように整備をしていきたい。東側踏切も道路幅より狭く、通学路になっているので、この改良についてJR側に要望書を提出しているところである。

五日市線踏切

立体交差の内容は

質問 奥多摩街道の拡幅整備も進んでいるが、五日市線の踏切部分は地下道になるようであり、その内容を聞きたい。

市長 都は内出十字路口から約四百八十メートルを幅員二十メートルにいたすべく、六十年代より五年計画で用地買収に当たっている。今後、その先、百七十メートルの区間、及び五日市線の立体交差計画については、都の事業決定の調整作業が若干遅れている。
建設部長 事業決定区間の用地買収率は五二%で、内出交差点か

ら二小入口までの事業年度が一年ぐらいい延びる状況である。
五日市線の立体交差は、アンダーで抜く予定で、現在調整中である。幅員が二十四メートル、側道が六メートル、車道は片側一車線が四・五メートルとなっている。

多摩橋東側地域の

今後の開発をどうする

質問 多摩橋際には老人ホームもあり、道路の横断は非常に危険である。今後、この地域の開発を含め、地下道を設ける考えはあるのか。

市長 老人ホームや新堤防ができ、今後住宅地として開発が進むと公共用地の利用と相まって立体的な道路整備の必要性が増すものと思う。しかし現状から立体交差は技術的に困難であると思う。
将来は新堤防を利用した自転車道を予定しており、その中で検討していきたい。

憩いの場、多摩川の

水と緑の調和と整備を

質問 多摩川は歴史的なつながりも深く、自然が残っている唯一の憩いの場である。しかし流れている水は清流とはいえない状態である。

水と緑の調和を図りながら、水辺で子供達が釣りができるような沿岸整備の考えを聞きたい。

市長 河川管理をしている建設省に整備や流量増の要望をしているが、流域の人口も増加し河川管理上いろいろ制約がある。住民の生命、財産の安全性を一義的に考えた上で、親しめる河川環境にいたすべく努力していきたい。

南公園入口の交差点

今後の安全対策は

質問 陸橋の開通後、秋川市方面からの車もふえ、南公園入口の交差点にも通学児童が多く危険な状態である。今後の安全対策を伺いたい。

市長 確かに通学時は危険な状態で、父兄からも要望書がきている。管理者である都に要望してい

るが、不可能な場合には市で実施したい。将来計画として、改修中の下の川上部を利用した遊歩道計

画の中で、陸橋通りと立体的に整備することより、通学路としての安全策を図っていきたい。

計画中の基地内高層住宅

電波障害などの問題は

質問 ① ことしも米韓合同演習チームスピリットが実施されようとしており、横田基地での離着陸数も多くなる。こうした演習について中止要請をすべきと思うかどうか。

電波障害や日照等の問題はどうか。
また、資産変更による交付金の影響と軍人軍属の居住状態について伺いたい。

② 基地内には十二棟の高層建物が、さらに住宅や倉庫を壊し二棟を建てると聞いているが、

③ クラーク基地からの軍人軍属の移駐状況と市内の居住について、また、軍服による市内の行動に対する考えを聞きたい。

④ 十二月と二月の離着陸数と正月三が日及び一月十七日からのE2C訓練飛行の数値はどうか。
また、大喪の礼の二月二十四日はどうであったのか。

市長 ① 三月十四日から実施することが発表され、横田基地での離着陸数もふえると思うので、防衛施設庁や基地側へ事故防止等に万全を期すよう申し入れた。
歓迎すべきことではないが、外国間の問題であり、国際的、軍事的な問題でもあるので、現在のと



基地内の高層住宅

— 国道一六号線から —

ころ中止要請の考えはない。

② 老朽化した倉庫と住宅四戸を壊し、九階建二棟を建てるように、影響区域の調査は終わっており、国でも原因者負担の原則で対応することになっている。また、交付金の算定は難しく、基地外居住の影響はない。

③ 三月一日現在で約三百二十人が移駐してきたようである。市内居住について国に確認したら、軍人軍属、家族を含め七百八十四人で、市の水道事務所の調査では、約四百六十八人である。また、軍服の件は基地側に話してみる。

市民部長 ④ 十二月は千四百四十六回で前年より十回の増、一月は千八百三十八回で前年より十七回の減、二月は千四百二十三回で前年より七十六回の減である。

正月三が日は元日が二十三回で前年より一回の増、二日が三十三回で前年より十七回の増、三日は二十五回で前年より十二回の増となっている。E2C関係では一月十七日が七十回、十八日が百二十七回、十九日が百六十三回、二十日が五十九回となっている。また、大喪の礼の日は二十六回であった。

天皇の死去、葬儀に際し

市並びに学校での対応は

質問 一月七日の天皇の死亡と、二月二十四日における葬儀に際して、市の対応状況と、一月九日の小中学校での対応について、お聞きしたい。

市長 崩御について弔意を表わす意味で庁舎に半旗を揚げ、葬儀においては国民等しく惜別の意を表わす意味で二十四日を休日とした。

教育長 一月七日は、弔旗掲揚が九校で、九日の始業式での校長講話は全校、黙とうはなかった。

平和予算を計上し

一層平和への啓蒙を

質問 当市の平和予算は、講演会程度しかないが、福生の空襲の記録とか、横田基地の歴史というような、平和に対する啓蒙のための平和予算計上の考えがあるか。

市長 市の助成団体である世界連邦建設同盟福生支部における平和のための諸事業に援助するとともに、共催で平和祈念事業を実施したい。

放射能測定器を

設置する考えは

質問 最近になって放射能被害が叫ばれてきたが、公害調査の一環として、放射能測定器を設置する考えがあるか。

市長 原子力の平和利用が論議されている一方で、健康被害が問題視されている。しかし自治体の領域や能力、放射能という専門性からも現段階ではなかなか困難と思っている。

庁舎内に外国語案内板

ガイドブックの作成を

質問 市内の外国人は登録している人や軍人軍属があり、来庁することもある。そのため庁舎内に外国語の案内とか、ガイドブック作成の考えについて伺いたい。

市長 当市として将来の国際化を前面に出したまちづくりを考えており、来年度から案内板等を設置すべく準備を進めている。また、市制二十周年に向けて、市勢映画とビデオの外国語版や要覧もつくり、理解の一助にした。

増加傾向にある「ごみ」

減量運動や収集体制は

質問 最近では、また「ごみ」の量が増加傾向にあるが、今後の減量運動と収集体制及び医療機関からの廃棄物等について、お尋ねしたい。

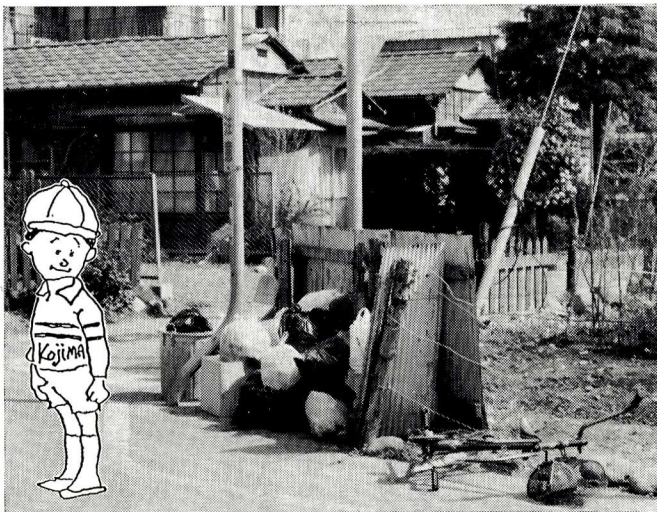
市長 市民生活の資質の変化に伴ない、「ごみ」も年ごとに増加

してきている。今後は減量運動と有効利用を図ることが重要になると思うので、市民の啓発活動に一層努力していきたい。

当市は可燃物は毎日、不燃物は週一回の収集で、主にポリ用器やポリ袋等であるが、無公害ポリ袋の使用についてスパー等にもPRしている。

医療機関からの廃棄物は、密封した缶で不燃物として処理している。都を通じて指導しており、今後もその方法で進めていきたい。

リサイクルセンターでも焼却処理をしているが、老朽化したので地元のご理解を得て来年度で設置したいと考えている。



「あれー 自転車を出してはダメだぞー
これは粗大ゴミなんだから」

学校給食

今の状況はどんなのか

質問 ① 学校給食は、児童生徒の成長に必要な栄養摂取や生活体験の学習等から考え大切なことである。小学校における食事のあり方や食物についてどう指導しているのか。

② 子供達に喜ばれる給食として、メニューの構成と望ましい食事の方法等について伺いたい。

③ アルマイト食器にかわる強化ガラスや陶磁器の利用と、先割れスプーンの使用状況及び空き教室を利用したランチルームの活用について聞きたい。

④ 長い間、問題となっている中学校給食について、今定例会に審議会設置の条例が提案されているが、市側の決意を伺いたい。

教育長 ① 年間の給食指導計画をつくり、月別目標や留意事項等学校給食について、学校より児童に指導している。

② 都の標準食品構成表を基準にやっているが、六十一年より二段階であったのが、低中高学年の三段階となり、栄養の摂取バランスを考慮し、ビタミン類やカルシ

ウム分をふやし、塩分を控える等副食加工に配慮している。

③ 地場産業の振興策として陶磁器を使っているところもあるが、これらは重くて割れ易く難点もあり、保管問題を含め研究課題としたい。利便性から先割れスプーンを使っているが、最近は「はし」の使用が多い。空き教室は他の利用方法があるので、学校側とも相談していきたい。

④ 過去において長い間検討され、今回は審議会設置の方針を教育委員会で決定したが、その答申が出たら十分尊重したい。

米国の大学分校

誘致話のその後は

質問 地方自治体では、二十一世紀に向け個性ある地域づくりに知恵をしばほっている。当市でも国際都市の第一歩として、アメリカン大学分校誘致の話を目にしたが、その後の動きはどうか。

市長 青年会議所でも大学誘致に熱心に取り組んでおり、講演会等をやっているが、基地内にメリーランド大学の分校がある関係から、福生校についての提案書を持

ってきた。それによると用地が最大の問題であり、その可能性について探っている現況である。

臨時会

平成元年第一回臨時議会が、一月二十六日から二月八日まで十四日間の会期をもって開かれました。

今回の臨時会には、福生市組織条例の一部を改正する条例を初め十一議案と、陳情二件及び報告一件が提出され審査の結果、組織条例ほか十件が可決され、陳情二件が不採択となり報告一件を承認しました。

また、収入役の選任については賛成多数をもって同意されました。

英語学習指導の

今後の施策は

質問 ① 今後の情報化社会に十分対応できる人材育成のため、中学校にパソコンを導入したかどうか。

② 国際化を推進するうえで、外国人補助者による英語学習指導について、今後の施策を伺いたい。

教育長

① 将来の学校教育の中で、コンピュータ機器を、どう取り入れていくか今後の大きな行政課題でもあると認識している。

しかし導入するには十分指導できる教師の確保や養成が必要となり、今後十分研究していきたい。

② 六十三年度から外国人の英語教育指導としてオーストラリア人の女性一名で実施しているが、各校かけもちであり、授業に支障なく、より効果がるよう補充につき検討したい。

市民の健康管理に

IDカードシステムを

質問 各市民の医療検査データを記録したIDカードをつくり、市民の生涯健康管理システムを導入する考えがあるのか。

市長 人生八十年をいかに心身ともに健康に過ごすか、市民各位が健康管理し、適正な検診や医療を受けることも重要である。

健康管理をカード化することもメリットがあると思うので、医療機関のご協力とご理解を得るため、医師会側とも十分相談していきたい。

小中学校の諸問題

その考え方と対応は

質問 ① 非行や登校拒否問題は待たなしの状況であり、これ等の子供たちの対応について伺いたい。

② よりよい教育、豊かな学力、落ちこぼれや非行をなくすには、四十人学級の早期実現が望まれるが、その見解を聞きたい。

③ 児童、生徒の変化により、空き教室が出ているが、その実態と活用状況はどうか。



「四十人学級」平成三年度で達成 — 三小で —

め周辺の人達とも連携し、協力して当てるのが肝要とします。また、学校教育の指導として、人権尊重教育、社会性を育む教育、生活指導の充実を掲げ、心身ともに逞しい児童生徒の育成を目指し、家庭教育、学校教育、社会教育の連携のもとに、更に努力して

市長 いじめや非行がふえて

ることは遺憾と思うが、自己中心の考えから、ひいては家庭教育における子供への影響も起因しているとも考えられ、そういう意味から、今後は生涯教育が大切と考えている。

教育長 ① 自分の欲求が満た

されない非行等反社会的行動となつて現れるわけで、こうした子供に対しては、教師や保護者を初

いきたい。

② 国の基準により、六十一年度より小学一年生から段階別に四十人学級を進めており、平成三年度にはすべての学級が達成される。

③ 各学校の余裕教室は、会議室や部活動等に有効活用をしている。

教育次長 ③ 余裕教室の実態としては、一小が二教室、二小が五教室、三小が二教室、四小が三教室、五小はなし、六小が十二教室、七小が四教室、一中が二教室、二中が二教室、三中が一教室となっている。

ブロック塀を総点検し

地震対策に備えては

質問 宮城沖地震でブロック塀が倒壊し死者が出た。いつ起こるか分からない地震に備え、市内に点在するブロック塀を総点検し改善するための助成金制度の考えはあるのか。

市長 市としても調査の必要性は認識している。検討中の第二期総合防災計画の中で対応するとともに、緑化の助成として、生け垣の推進も図っていきたい。

議会日誌

1月	2月
17日 収益事業組合第一回臨時会	2日 全国市議会基地協議会総会及び正副会長・監事・相談役会議(三日まで)
18日 全国市議会議長会基地協議会	6日 議会運営委員会
19日 議会運営委員会	8日 第一回臨議会(二日目)
26日 第一回臨時議会(一日目) 基地対策特別委員会 総務委員会 厚生委員会 建設委員会	10日 東京都市議会議員研修会
30日	17日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会
31日	20日 東京都三多摩地区消防運営協議会
	21日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第三委員会 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第二委員会 東京都市議会議長会二月



工事中は暫くの間よろしくお願いします

また、補助事業の発注も遅いので事業推進上から国等に補助金の早期決定を要請したらどうか。

市長 ご指摘のとおりであり、特に道路については市民生活の環境を考え、平均して発注しなければと考えている。しかし後半に発注が避け

豊かな老後のために

老人用住宅の確保を

質問 核家族化により、年々お年寄り世帯や一人暮らし老人が増加しているが、老人には、なかなか家を貸してもらえないのが現状である。豊かな老後を送ることがで

きるよう、老人向け住宅の確保について伺いたい。

市長 世界にも例を見ない速度で高齢化が進んでおり、当市も例外でない。高齢化社会への対応としての住宅対策も必要と思うが、都でも老人用住宅の諸施策を打ち出しており、当市の老人の実態調査をする中で検討していきたい。

年度末に集中する工事

発注の工夫ができないか

質問 年度末近くになると例年工事関係者は繁忙を極めるが、補

助事業以外の市単独の工事は、平均して発注できないものか。

ふえる大型自動車

早急な解決策を

られない場合は、関係業者にも工期短縮方の努力をお願いしていきたい。

補助事業は関係機関との調整もあり、どうしても秋ごろになってしまいうので、今後は早期発注について内部努力をすることも、関係機関とも協議したいと思う。

質問 栄通りは羽

村方面の工業団地向かう大型自動車が、昼夜を問わず通過しており、こうした車公害で移転した人もいる。今後固定式によって騒音測定をするとか、住宅密集地域を通らさずにいけるよう、根本的解決策を考える時期と思うがどうか。

市長 確かに交通量も年々ふえており、都には改修整備等を要請してきた。騒音測定も飛行機騒音との競合もあり、状況を見てその必要性を検討したい。

市民部長 昨年十二月に、七日間調査した台数は、上下合計で約十六万五千二百台、一日平均二万三千六百台となっている。

3月

定例総会

- 1日 三多摩地域廃棄物広域処分組合議会
- 2日 市下水路組合議会
- 3日 横田基地対策特別委員会
- 4日 西多摩衛生組合議会
- 7日 狭山火葬場組合議会
- 8日 収益事業組合議会
- 9日 第一回定例会(一日目)
- 10日 第一回定例会(二日目)
- 13日 議会議務委員会
- 15日 予算審査特別委員会
- 16日 厚生委員会
- 17日 建設委員会
- 22日 総務委員会
- 24日 議会運営委員会

人事

収入役に内田和雄氏を同意
収入役の任期満了に伴い、内田和雄氏を任命したい旨、臨時会に提案され、賛成多数をもって原案どおり同意されました。

れんげ作業所は定員いっぱい

早急に解決を

質問 れんげ作業所は、既に定員がいっぱいとなり、環境も悪く限界にきている。一日も早く恒久的な施設の建設を考えるべきと思

消費税導入による

影響はどうか

質問 ① 四月一日より国民の大多数が反対している消費税が実施されるが、当市の財政上の影響はどうか。

② 当市では歳入面の消費税は見送るといふことだが、予算上の

うがどうか。

市長 関係者のご理解とご協力により、順調に運営されているが、現状や今後の入所者を考えると、極めて困難な状況と認識している。問題解決のため十分協議をし、具体的な取り組みができるよう努力していきたい。

額はどうか。

③ 市民や自治体に負担増となる消費税について、廃止要請をする考えがあるか。

市長 ① 一般会計の歳入では、電気税、ガス税の廃止で一億二千七百万円の減になるが、これは補填措置がされ、市民税で約千二百六十万円の減、使用料・手数料で四百三十万円の減、国庫支出金で千四百六十万円の増となり、歳入の減が二百三十万円程度で、また、歳出では約九千六百万円の増とな



消費税元年、主婦の買物も頭が痛い

る。② 一月十四日より無通告で、

り、差し引き約九千八百万円の影響額と予想している。

② 使用料等について四月からの導入は見送ったが、地方交付税との関係もあり、他市の状況を勘案して相談していきたい。

③ 本税制改正は、国権の最高機関である国会で決定したものであり、要請する立場でないと考えている。

収入役兼企財部長 ② 一般会計の歳入では、市営住宅や市民会館等の使用料、塵芥、し尿関係の手数料等の消費税分として四百二十七万七千円の減収、歳出では委託料や工事請負費等で九千六百万三千円の増額と見込んでいる。

市民部長 ② 国民健康保険会計としては、全体で二十二万三千円程度が影響額と見ている。

迷惑なE2Cの訓練

その対応はどうであったか

質問 ① フィリピンのクラーク基地から、新たに空輸中隊四百三十五人が横田基地に移駐する計画があると新聞報道があったが、こうした移駐には反対すべきと思うがどうか。

② 一月十四日より無通告で、

E2Cの訓練が実施されたが、その対応はどうであったのか。

③ 今年もチームスピリット'89が予定され、この期間中横田基地は重要な中継拠点となるが、この演習についてどう考えるか。

市長 アメリカの一九九〇年会計予算の計画に、「C130」四機を伴った第二一戦術空輸飛行中隊がクラーク基地より横田基地に移駐するための予算要求がされた旨の連絡が国と基地からあり、これについては市民感情として容認できないものであり、外務省や防衛庁等に中止要請をした。

③ E2Cの離着陸訓練が一月十三日から六日間あり、十三日、十四日は事前連絡もなく、国と基地側に嚴重に抗議や中止要請をしたが、結果として中止されなかったことは遺憾に思っている。

③ 演習によって離着陸数が増えることは歓迎できないが、外国間の演習であり、国際的、軍事的なことでもあるので、中止要請をする考えはない。事故防止に万全を期すよう申し入れた。

市民部長 ② 一月十七日から二十日までの四日間で、離着陸数が四百十九回となっている。



電算化「満2年」、操作にもなれ処理が早くなった
—市役所電算室—

緑化推進のために

基金の設置を

質問 今日においては、緑化の推進は重要な施策となっており、そのための基金を設置したらどう

か。

市長 開発が進み、緑化対策の具体的な方法を考える時期にきていると思っている。長期的、安定的な施策を進める上で、基金設置も有効と思われ、財政面のバランスを考慮に入れて検討したい。

プライバシー保護の

条例化への考えは

質問 電算システムを導入して二年になるが、個人情報も多くな

ったと思うので、プライバシー保護のため条例化する考えがあるか。

市長 当市は規則によって保護しているが、全体的な保護条例の内容とするか電算のみとするか、また、情報公開との関連もあるの

一連の横田基地問題を

市長はどう考える

質問 ① 米韓合同軍事演習チームスピリット89が実施されると、横田基地の騒音も多くなり、市民の怒りは大きい。市としての対策を聞きたい。

② E2Cの訓練については、市民が大変迷惑をしている。事前連絡もなく無視されていることに

対し、どう考えているのか。

③ クラーク基地からの部隊移駐は、横田基地の強化につながるものである。移駐の状況と対策を聞きたい。

市長 ① 離着陸数も多くなることからすると歓迎すべきことではないが、外国間の問題であり、国際的、軍事的なことでもあるので、中止要請をする考えはない。

安全性や事故防止に万全を期すよう、国や基地側に要請をした。

② 事前連絡もなく実施されたことに對し、強く抗議するとともに、再三の中止要請にもかかわらず実施されたことは遺憾なことと思っている。

③ 五部隊の移駐は、音楽隊が完了し、医療関係の二部隊は、家族の移駐が済んでいない。通信関係の二部隊は一部移駐が済んだ。三月一日現在で約三百二十人の移駐が終わっている。

新たに第二一戦術空輸飛行中隊の移駐計画があるとの情報を得たので、外務省や防衛庁に中止要請をした。

大喪の日の考え方と

小中学校での対応は

質問 昭和天皇の死去と葬儀の対応や過剰警備をどう思うか。また、教育委員会における二十四日の休日に対する考え方、保護者への文書、弔旗の掲揚等について伺いたい。

市長 国民としての常識の範囲で対応したが、今後も変わらない対応をしたい。警備については、何かが起きれば国際問題にもなりかねない危険があったので、そうした警備になったと思う。

教育長 二十四日を休校としたが、休日とした法の趣旨からも、大喪の日の弔意を表すためということであり、校長名でのお知らせ文があったとしても、問題はないと思う。子供は休みでも親は仕事というところで、事前に配慮したと思う。また、一日休校したからといってカリキュラムには影響するものではない。

教育次長 弔旗を掲げた学校のうち、校長が掲揚したのが一校、校長の依頼により警備員が掲げたのが八校となっている。

消費税の廃止を

市長は国に要請すべきだ

質問 消費税に対しては市民の多くが反対しており、市長は市民の代表として廃止すべく、国へ要請する考えがあるか。また、当市への影響について伺いたい。

市長 税制改正の中で、消費税については広く、浅く、公平に負担を求めるところであり、国権の最高機関である国会で決定したもので、市長として、そうした要請をする立場にないと思っている。一般会計で約九千八百万円の影響額と予想している。

先の講演会 問題ではなかったか

質問 二月十八日に、青少年問題地区委員会と教育委員会の主催で「教育と狂育の別れみち」と題する講演があったが、公的機関が「狂育」という差別的な用語を使ったことについてどう考えるか。

教育長 青少年の健全育成、子育て等のテーマで、毎年講演会を開いているが、今回は講師自身が保育科学研究所長としての、体験

内容が主であった。「狂育」とは親が子供に対し、教育のし過ぎ、

四人に一人は老人

21世紀への対策は

過ちを総称して講師が使ったもので差別用語とは理解していない。

質問 ① 盲人の職業はマッサージ業が多かったが、最近では障害者のマッサージ者も多くなり、障害者が安定的に仕事ができなくなりつつある。今後身障者に対する職種開発等を聞きたい。

② 二十一世紀には四人に一人が老人となるが、しかし老人用の

住宅問題は深刻であり、その対策はあるのか。

市長 ① 障害者等の職種開発なり雇用の拡大は、厳しいものがある。行政分野でも障害者に応じた供給ができるよう、また、事業所の協力も得て努力していく。

② 高齢化が急速に進む中で、老人向け住宅対策は、将来の豊かな高齢化社会への対応策でもあるが、今後の老人の実態調査等の中で検討していきたい。

水とかかわりの持てる

公園の整備計画は

質問 当市を流れる多摩川の自然は、都市型と田舎型をミックスした整備が考えられるが、人間と水とのかわりを持たせた公園づくりの計画について伺いたい。

市長 河川管理上いろいろな制約があって、計画どおりに整備しにくい。来年度着工の仮称多摩河原公園について、個性ある利用



おじいちゃん／ガンバッター

効果の高い公園とし、水辺も整備したい。そのためには水をきれいにしなればと考えている。

都立昭島児童学園の転用 その対応について

質問 当市からも通園している都立昭島児童学園が、成人向けの施設に転用されるということである。その点の対応を伺いたい。

市長 四十五年から通所施設として開設されたが、都では平成元年度から成人向け心身障害者生活実習所として、転用することが決まり憂慮している。市でも保育所等に受け入れの努力をしているところである。

議員表彰

東京都市議会議長会では、議員として永年地方自治に功績のあった方々を表彰しております。

昭和63年度においては、去る2月10日に次の議員が表彰されました。

- 正副議長3年以上
- 村尾 栄 次
- 議員7年以上
- 堀 川 實

一般質問項目

○多摩川沿岸等の整備について

沿岸の草木を整理し、水に親しめるように整備する考えについて

○道路行政について

1、熊川駅周辺の道路整備について
2、奥多摩街道の拡幅について

○交通安全対策について

1、多摩橋東側横断道について
2、陸橋交差点の歩道拡幅について

○横田基地について

1、チームスピリット'89について
2、基地内高層住宅の建築について
3、クラーク基地からの移駐に伴う
軍人軍属の居住状況について
4、十二月～二月期の離着陸について

○天皇代替りについて

1、天皇死去に際しての市の対応について
2、天皇葬儀に際しての市の対応について

○平和予算について

市長の考え方について

○市内の外国人について

1、市庁舎等の案内について
2、外国語のガイドブックについて

○市民の安全について

放射能測定器等の設置について

○学校給食について

1、給食指導の充実について
2、食事内容と食事の方法等について

○教育行政について

1、全中学校にパソコン導入の考えについて
2、中学校における外国人の英語学習の充実について

○ごみ（廃棄物）対策について

1、ごみ（廃棄物）等のリサイクル運動と減量への市民意識の啓発について
2、収集態勢の現況と対応について
3、リサイクルセンターの焼却について
4、医療機関からの廃棄物処理について

○外国大学の誘致について

アメリカの大学誘致の状況について

○市民の健康管理について

IDカードによる市民の健康管理の考えについて

○環境問題について

ブロック塀の点検と助成について
○老人福祉充実について
高齢者住宅対策について

○教育行政について

1、いじめ、非行、登校拒否に対する考えについて
2、四十人学級の考えについて
3、空教室の実態とその有効利用について

について

○栄通りの騒音公害について

車両騒音測定器の設置と対策について

○れんげ作業所について

恒久的な移設の考えについて

○建設工事の発注について

1、市単独工事の早期発注について
2、補助事業に対する関係官庁への働きかけについて

○基地問題について

1、クラーク基地からの空輸部隊の移駐について
2、E2Cの離着陸訓練について
3、チームスピリット'89について

○消費税問題について

1、市財政への影響について
2、使用料等に消費税を課税しないこと
3、消費税の廃止を政府に要請すること

○緑化対策について

緑化基金（仮称）を設ける考えについて

○横田基地について

1、米韓合同軍事演習チームスピリット'89について
2、E2C低空飛行訓練について
3、クラーク基地からの部隊移駐について

○天皇問題について

天皇死亡と葬儀に対する市の対応について

○消費税について

消費税に対する市長の考え方及び導入に伴う市民と当市に与える影響と対策について

○個人情報について

電子計算組織に係る個人情報保護に関する条例制定について

○教育行政について

教育委員会主催の講演会における「教育と狂育の別れみち」の狂育についての基本的な考えについて

○多摩川と公園づくりについて

多摩川を活用し、水と親しめる公園づくりについて

○福祉問題について

1、障害者に対する職種開発等について
2、一人暮らし老人（障害者を含む）住宅問題について

○都立昭島児童学園について

新年度からの使用目的変更に伴う児童の対応について

議会を傍聴
しましょう
次の定例会は
6月です。

陳情・請願

▽不採択△

○陳情第六十三―二号 保健、医療、福祉の拡充に関する陳情書

杉並区成田東四―一三―一六

加藤 毅氏

―昭63・2・24提出―

○陳情第六十三―四号 名称・形式を問わず大型間接税の導入に反対する陳情書

福生市福生二、三五六一―一五

今村 昭六氏他千百九十五人

―昭63・3・7提出―

○陳情第六十三―五号 入院ベットの確保に関する陳情書

福生市熊川五三一―一一

岩本 寅次氏他六百十四人

―昭63・3・7提出―

○陳情第六十三―十一号 消費税（新型間接税）の導入に反対する陳情書

青梅市西分三―一六五

中村 正氏他千十三人

―昭63・8・30提出―

○陳情第六十三―十四号 消費税（新大型間接税）の導入に反対する陳情書

福生市加美平二―二―一二

松田司氏他二千七百六十二人

―昭63・9・6提出―

○陳情第六十三―十五号 消費税（新大型間接税）の導入に反対する陳情書

福生市加美平四―一―五三〇六

土屋 暢彦氏他八百八十三人

―昭63・9・6提出―

○陳情第一―四号 消費税の廃止を求める陳情書

羽村町羽一、九〇五

岩本 寅次氏他八団体

―平元・2・27提出―

陳情第一―五号 消費税の導入に関する陳情書

立川市曙町二―一五―二〇

森川 隆志氏他一団体

―平元・3・3提出―

書

羽村町羽一、九〇五

岩本 寅次氏他五団体

―昭63・12・2提出―

○陳情第一―一号 年金制度改善に反対する意見書採択を求める陳情書

秋川市油平二四二―一

遠藤 寿雄氏

―平元・2・20提出―

○陳情第一―二号 国民健康保険に関する陳情書

羽村町羽一、九〇五

岩本 寅次氏

―平元・2・27提出―

○陳情第一―三号 年金制度の改善をやめ、改善を求める陳情書

羽村町羽一、九〇五

岩本 寅次氏

―平元・2・27提出―

○陳情第一―六号 リクルート疑惑解明に関する陳情書

立川市曙町二―一五―二〇

森川 隆志氏他一団体

―平元・3・3提出―

○陳情第一―七号 年金制度改革に関する陳情書

立川市曙町二―一五―二〇

森川 隆志氏他一団体

―平元・3・3提出―

リクルート事件の疑惑解明と

政治倫理の早期確立に関する決議

現今におけるわが国の国民は、いわゆるリクルート事件について強い関心を示し、その成り行きについて注視しているところである。

事件発覚後、政・官界等に大きな波紋となり、国民に与えた衝撃は計り知れないものがある。これらリクルート事件の疑惑解明にあたっては既に司直の手に委ねているとはいえず、一日も早く国民の前に明らかにすることは重要な問題であるとともに、失われた信頼関係を修復することは急務であると考え。又、政府においても、政治浄化のため早期に政治倫理の確立をするよう強く要望する。

（この決議は、内閣総理大臣、自治大臣に送付しました。）

▽継 続△

○陳情第六十二―二十一号 三宅島米空母艦載機夜間離着陸訓練基地建設計画に関する陳情書

三宅村坪田一、七七四

持丸 教能氏

―昭62・12・9提出―

○陳情第六十三―三号 国庫負担を減らし、自治体と被保険者負担増をもたらす国民健康保険法の改悪に反対する陳情書

福生市福生一、一四二―一六

沢本 早苗氏

―昭63・3・7提出―

○陳情第六十三―十六号 リクルート疑惑の全容解明を求める陳情書